

< もくじ >	
1. 2017年度定時総会・第16回大会開催日は、6月18日（日）です。	1
2. 研究会からのお知らせ	1～2
3. 各研究会の概要報告	2～3
4. 秋の講演会（予告）	3～4
5. 『エイジレスフォーラム』バックナンバー販売のお知らせ	4

1. 2017年度定時総会・第16回大会開催日は、6月18日（日）です。

会員の皆さまに、去る5月10日付にて2017年度定時総会・第16回大会の案内状を送付致しました。まだ返信ハガキを投函されていない方で、当日ご都合のよろしい方は、当学会最大の行事でもあり、是非ご出席下さい。

なお、大会は「分断社会」をどう乗り越えるかという今日のテーマを取り上げ、井手英策慶應義塾大学教授による基調講演及びシンポジウムは、必ずや皆さまのご期待に添うことが出来ると思います。大会は非会員の方も大歓迎であり、お問い合わせの上ご出席下さい。当日直接会場にてお待ちしております。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第45回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年6月22日（木） 15：00～18：00
 - 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
 - 3) テーマ：討議 「『老いる権利』をどうしたら履行できるのか。」～そのためにクリアしなければならない問題点と履行すべき制度や日常生活慣習について。～
 - 4) 参加費：300円
- *お問い合わせは、担当・島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) 迄お願い致します。

(2) 第103回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年7月19日（水） 18：00～20：00
- 2) 報告者：松崎 実穂氏（国際基督教大学ジェンダー研究センター）
- 3) テーマ：「若者ケアラー（家族を介護する若者）の困難と求められる支援」
- 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階

※ご質問がございましたら、佐藤まで。

090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

(3) 第41回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年7月19日(水) 18:00~20:00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：柄本三代子(東京国際大学准教授)
- 4) テーマ：「食のリスクコミュニケーション」
- 5) 参加費：500円 (ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター<現代の危機と共生社会>研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所のメンバーは無料)

※ お問い合わせは、福原(fukuhara@jaas.jp)までお願いいたします。
日程が変更になりましたのでご注意ください。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第102回 社会保障研究会の概要報告

- 1) 日 時：2017年5月17日(水) 18:00~20:00
- 2) 場 所：日本労働者協同組合会議室(豊島区東池袋1-44-3池袋ISPタマビル8階)
- 3) 講 師：酒井忠昭(認定NPOホームケアエキスパーツ協会理事長)
- 4) テーマ：科学技術が進歩した長寿時代のいのち~ひとりの人間として、晩年を考える

社会保障研究会100回記念シンポジウムでは、時間不足のため十分に話すことができなかった内容に加え、認知症高齢者に対する新たな対応についても語られた。晩年を自立期、ケア期、終末期に分け、自立期には創造価値が、ケア期には受動価値が、終末期には態度価値(考えの表明、思いやり、感謝、和解)が重要であり、心身機能が低下しても価値創造が可能である。終末期に向けて、その経過を理解するとともに、高額な医療費を費やす延命治療を禁止することの可否について社会的合意形成が必要である。

認知症については、自分のこととして、その症状に対する理解を深める一方、ケアする立場としては、病気を理解し、病人の真意や感情を推し量り、相手を見捨てず、顔を見て話すことが大切である。終末期医療については、あらかじめ自分の意思表示しておくことが必要であり、日頃から家族・友人・医療者などと人生のしめくり方を話し合うACP(Advance Care Planning)を勧めたい。

現在の成年後見制度にはデメリットが少なくない。いったん後見制度を利用すると、資格・身分が失われ、居住決定、不動産処分、株取引ができず、医療上の選択もできないうえに、後見人による権利侵害や犯罪も少なくない。それよりも、専門家のアドバイスを受けつつ、家族が財産管理や身上監護を行う家族信託を提案したい。家族信託では、財産の管理・運用・処分は受託者(たとえば子ども)が行うが、所有権や使用权は委託者(たとえば親)に残される。死後は、遺言にしたがって、財産を処分することになる。

会場からは、終末期のケアについて家族で話し合うことの難しさが指摘され、医療者をまじえての話し合いが望ましいということになった。(袖井孝子 記)

(2) 第40回「災害と地域社会」研究会の概要報告

- 1) 日 時：2017年5月24日(水) 18:00~20:00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：田所承己(帝京大学専任講師)
- 4) テーマ：「コミュニティカフェとその諸相」
- 5) 報告概要：

近年、全国各地に広がりを見せている「コミュニティカフェ」は、現代日本社会の高齢化、

地域コミュニティにおける家族と地域集団の変容、商店街の衰退などに伴う人と人とのつながりの質の変容を背景としているように思われます。田所承己（たどころよしき）さんは、過去10年近くにわたって首都圏各地の「コミュニティカフェ」を訪れ、インタビューを通じて特色ある多様な形態の「コミュニティカフェ」を分類したり、大規模なアンケート調査を行って基礎データを収集したりしてきました。そして、人びとの相互助け合いへのニーズは下降傾向にあるにもかかわらず、「コミュニティカフェ」が増大する傾向の背景および内在的要因を探り、新たなまちづくりへの動きの中で、「コミュニティカフェ」の意義を分析しようとしてきました。その研究成果は、複数の著書として出版もされています。

今回の報告では、まず、多様な形態の「コミュニティカフェ」に共通する特徴を抽出して、現代日本の「コミュニティカフェ」の基本的特徴を「たまり場」（異質な人が集まり、一定の時間を過ごす社会的空間）として把握し、その機能を、①喫茶、②サービス提供、③イベント開催、④地域情報交換などに求めています。そして、最終的に「人はなぜコミュニティカフェに集まるのか」を探ろうとして、新たな人びとのつながりの質を「社会関係資本」、「シビック・プライド」などの概念によって分析し、スペースのデザイン、イベント開催、多面的なつながりを生み出すための不断の努力が必要であるとしています。

これに対して、参加者からは、コミュニティカフェの定義の困難さをめぐる問題、スペース確保の問題、多様な世代間の交流の困難さ、中心的リーダーがいなくなったときの対応、外国人の増加に伴う問題などについて、活発な議論が展開されました。（長田記）

（3）第44回「シニア社会のリテラシー」研究会の概要報告

- 1) 日 時：2017年5月25日（木） 15：00～18：10
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：濱口座長が提唱される「老いる権利」という考え方を読み解き、持続可能な超高齢社会の方策を考える。

（今回は、濱口研究会の通算150回に当たります。）

- ・ 討議に先立ち、濱口座長は「老いる権利」を提唱する問題意識は、「生命と生活が乖離する」現象であり、これの解決策は、ヒューマンイズムの精神である。ヒューマンイズムはデモクラシーが育てて来た。そして私たちは、「健やかに老いる権利」を持っていると述べられた。
- ・ 活発な討議が行われたが、特に「老いる権利」という言葉そのものが、大変重たい言葉であり、皆が理解し納得するための方策に関し、種々意見交換がなされた。

*お問い合わせは、担当・島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）迄お願い致します。

4. 秋の講演会（予告）

これまで9年に亘って皆様に好評をいただいていたまいりました年6回の「連続講座」は、昨年度をもって終了しました。それに代わって今年度は、3年計画で進められている「持続可能な超高齢社会をめざして」という大テーマの深化に結びつくようなテーマで講演会の開催を予定しております。詳細については決定次第お知らせいたしますが、現時点で以下のような2つの講演会を秋に開催予定です。ご期待ください。

（1）秋の講演会1

- ◆ 講師：吉原 毅（城南信用金庫相談役、原発ゼロ・自然エネ推進協議会会長）
- ◆ テーマ：「反原発と持続可能な地球環境」（仮）
- ◆ 日 時：2017年9月16日（土） 14：00～16：00
- ◆ 場 所：駒澤大学
- ◆ 参加費：500円

(2) 秋の講演会2

- ◆日時：2017年10月28日(土) 14:00~16:00
- ◆場所：駒澤大学
- ◆テーマ：「戦争・平和・いのちを考える～態度に示そう Creative Aging」
- ◆講師：木村利人(元清泉女子大学学長、早稲田大学名誉教授)
- ◆参加費：500円

5. 『エイジレスフォーラム』バックナンバー販売について

『エイジレスフォーラム』バックナンバーを販売いたします。

残部数の少ない号もございます。会員は勿論のこと個人(会員外)にも対応致しますので、バックナンバーの販売にご協力をお願いします。

『エイジレスフォーラム』は、シニア社会学会の機関誌で、学会設立から2年後の2003年に創刊。毎号、6月の大会の収録記事、各分野の専門家の講演や公開講座など、シニア社会学会の活動の数々を収録、掲載しております。

各号の詳細は、シニア社会学会のホームページ URL <http://www.jaas.jp> (機関誌・研究成果)を参照下さい。

<販売バックナンバー>は、

- ◆創刊号(2003年発行)～第13号(2015年発行)までの各誌。
- ◆価格・・・1部 ¥500(送料込)
- ◆支払方法・・・『エイジレスフォーラム』と同封の振込用紙にてお振込みください。
- ◆ご購入ご希望の方は、下記シニア社会学会事務局宛に、e-mail 又は FAX にて、ご希望のバックナンバーをご連絡ください。
- ◆連絡先 〒150-0002
東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
一般社団法人シニア社会学会 事務局
電話・FAX 03-5778-4728
e-mail jaas@circus.ocn.ne.jp

一般社団法人シニア社会学会・事務局(月・水・金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX:(03) 5778-4728
eメール:jaas@circus.ocn.ne.jp URL:<http://www.jaas.jp/>